

グルジア、アルメニア訪問記

佐竹ゼミ

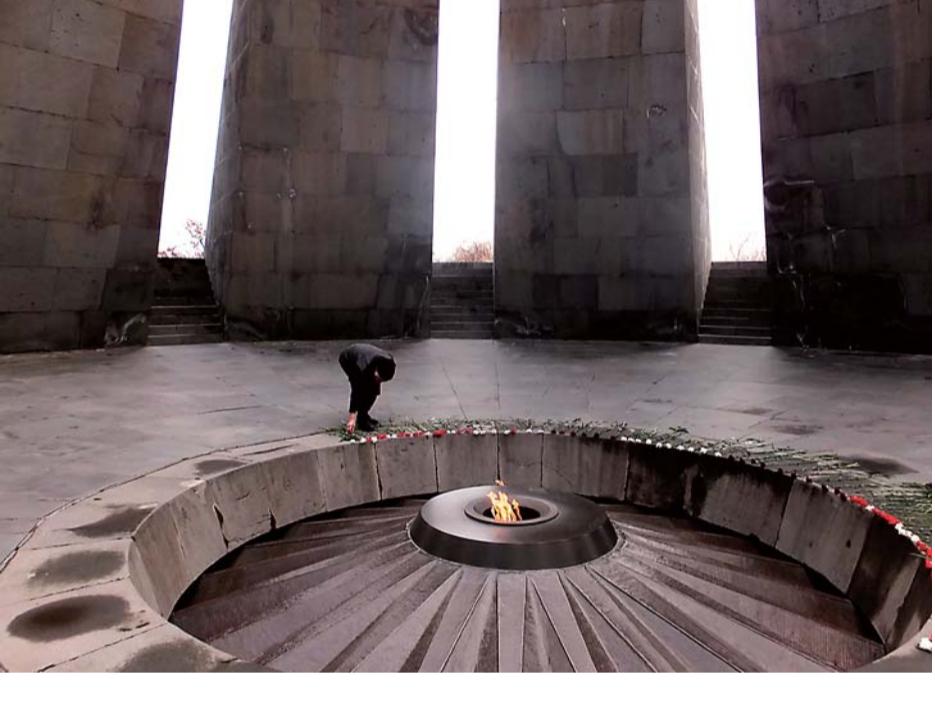
佐竹弘靖ゼミ(教養ゼミ「シルクロードを歩く」)の学生11人は2月、コーカサス地方のグルジアとアルメニアの2カ国を訪問し、現地の生活や文化を体験した。また現地の大学生とお互いの国や大学を紹介し、交流を深めた。参加した学生の体験記を紹介する。



グルジアは旧ソ連の構成国で450万人の人口を持つ歴史ある国です。民族問題などの歴史と向かいながら発展の道を歩んでいる自然豊かな国でもあります。いたるところに旧ソ連の文化や風習の名残があります。

滞在中、トビリシ自由

日本文化に高い関心 グルジア



◇グルジア・アルメニア旅行日程表◇

- 2月14日 夜、成田空港出発
- 15日 午後、グルジア・トビリシ到着
- 16日 トビリシ自由大学で交流会
- 17日 アルメニア・エレバンに移動
- 18日 アルメニア観光
- 19日 エレバン国立大学で交流会
- 20日 終了後、ホームステイへ
- 21日 朝、ホームステイ先の学生と登校
- 22日 エレバン観光
- 23日 グルジア・トビリシへ移動
- 24日 グルジア観光
- 25日 午前、市街観光
- 26日 午後、グルジア出発
- 27日 夜、成田空港到着



▲ アルメニアの学生たちと

平塚 喜子(法4)

みました。

グルジアの学生からは

グルジアの伝説や産業、

日本のお気に入りの本

命学んでおり、日本への興味を持ち、深く一生懸

かの学生と交流を持つこ

とに実感させられました。

グルジアの学生たちは

命の高さを感じまし

ることにつながったと思

います。たくさんの可能

性がある大学生活において、一度日本を出て世界

に触れ合うことをお勧め

します。

身をもつて表現できるよ

うな特技などを持ち、よ

いからは、自分自

身をもつて表現できるよ

うな特技などを持ち、よ

いからは、自分自